

クイックスタートガイド

Guava[®] Muse[™] セルアナライザー

製品番号 0500-3115

本製品および試薬は研究用です。体外診断用には使用できません。

始める前に

本クイックスタートガイドは、Guava[®] Muse[™] セルアナライザーのセットアップおよび基本的操作について書かれています。本システムの詳細な使用方法については、Guava Muse Cell Analyzer User Guideを参照ください。

機器を開梱し、水平な場所に設置してください。タッチスクリーンの保護フィルムを取り除いてください。Guava Muse セルアナライザーには以下の構成が含まれます：

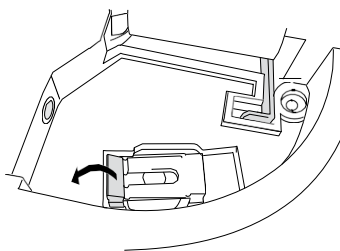
- Guava Muse セルアナライザー、電源コード*、パワーサプライ(製品番号:0500-3115)

* 付属の電源コードは本機専用です。他の装置等に使用しないでください。

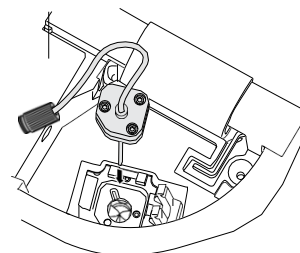
- 接続チューブ付き洗浄ボトルと廃液ボトル(製品番号: CN-0452-01、CN-0453-01)
- フローセル(2個)(製品番号:CN-0454-01)
- Muse Resource flash drive(リカバリーソフトウェアとユーザーガイド: 製品番号 0110-7880)

フローセルのセット

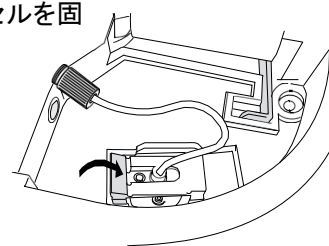
1. 機器上部の手前右端のハッチを開く。
2. クランプを左側に倒すと、反対側のクランプが自動的に起き上がるので、挿入口に合わせてフローセルを取り付ける。



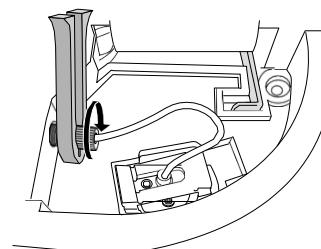
3. キャピラリーは破損しやすいので、フローセルが入っている箱を慎重に開梱し、できるだけ緑のコネクター部分の近くでチューブをつまんでフローセルを持つ。
4. フローセルの角を切り落とした部分と設置部位の形状を合わせて正しい向きにセットする。



5. フローセルを垂直に保ちながら注意深くハッチ内を降ろしきる。
6. フローセルを保持しながら、二股クランプをフローセル上に倒す。二股クランプの左側にもう一方のクランプをかませてフローセルを固定する。

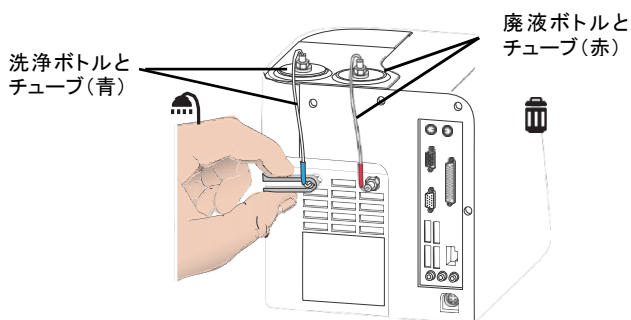


7. 同梱されている Tightening Tool を用いてフローセルのチューブを機器側に接続する。



廃液ボトルおよび洗浄ボトルのセット

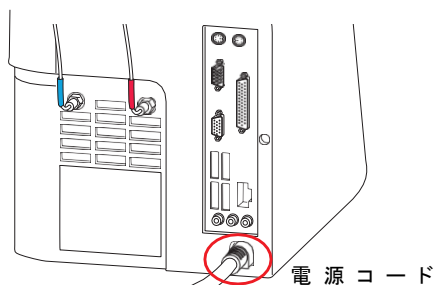
1. 洗浄ボトルのインジケータラインまで Guava ICF 溶液を満たす。
2. 廃液ボトルのインジケータラインまでブリーチ（約 10 mL）を加える。
3. 設置部位の内側にある色分けされたアイコンを参考にして、両ボトルをそれぞれの位置にセットする。
4. 廃液ボトルの赤マーカーのチューブを機器背面に接続する。洗浄ボトルの青マーカーのチューブを機器背面に接続する。Tightening Tool を用いてチューブの接続部の締め付けを行なう。



5. 洗浄ボトルに洗浄液を満たし、廃液ボトルを空にした場合、必ずシステム起動時に液量レベルをリセットする。
 - システムチェックまたは各アッセイ画面で「Clean」を選択する。
 - 「Reset Fluid Levels」を選択する。
 - 「Next」を選択する。

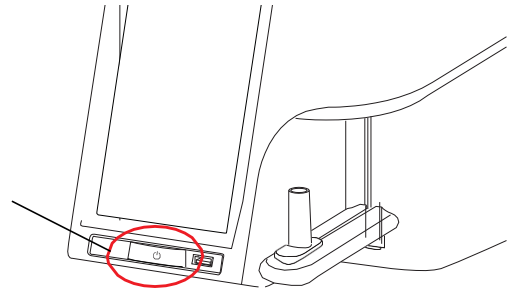
機器の起動

1. 機器の背面下部に電源コードのプラグを差し込み、もう一方を壁面の電源に差し込む。プラグを差し込むと、自動的に機器が起動し、ローダーアームが落ちる。



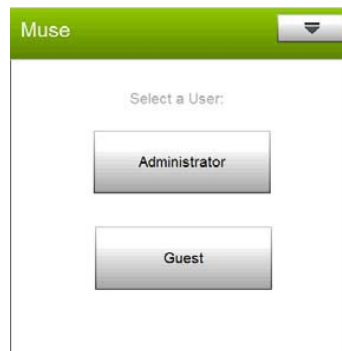
注意: 機器をパワーオフにしてあった場合、タッチスクリーン下部のパワーボタンを押すとパワーボタンが緑に変わる。

電源ボタン

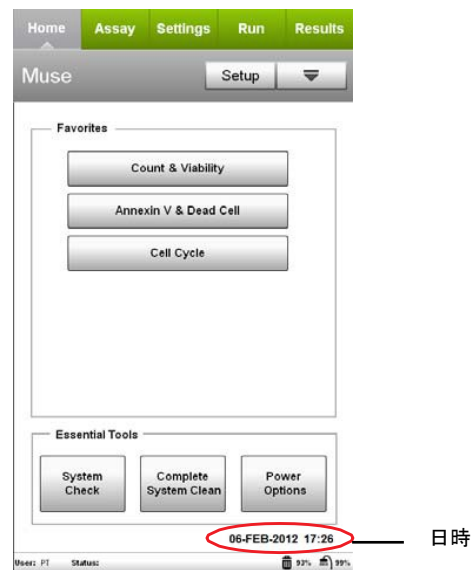


2. スクリーンに「Select a User」画面が表示される。初めてログインする場合は「Administrator」を選択後、「1234」と入力し「OK」を選択する。それ以外の場合は登録済みのユーザー名を選択後、PIN 番号を入力する。

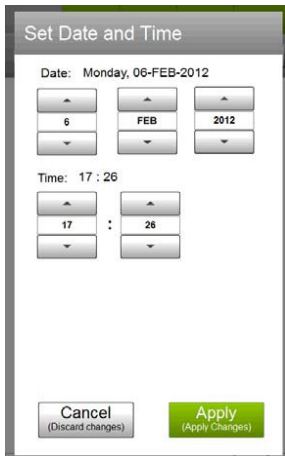
注意: 新たに User をシステムに加える場合は Muse Cell Analyzer User's Guide を参照ください。



3. メインメニューが現れたら、スクリーン右下部の日時をタッチする。

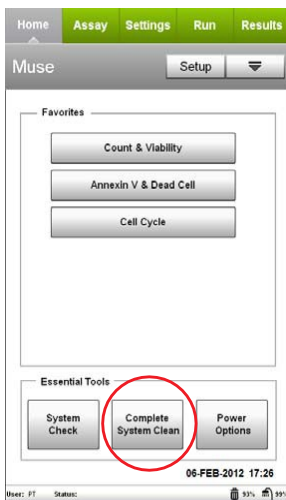


4. 上下の矢印ボタンで年月日と時間を設定し、「Apply」を選択する。



システム洗浄の実施

1. 廃液ボトルはブリーチのみで廃液は入っていないこと、洗浄ボトルは ICF で満たされていることを確認する。
2. メインメニューの「**Complete System Clean**」を選択する。



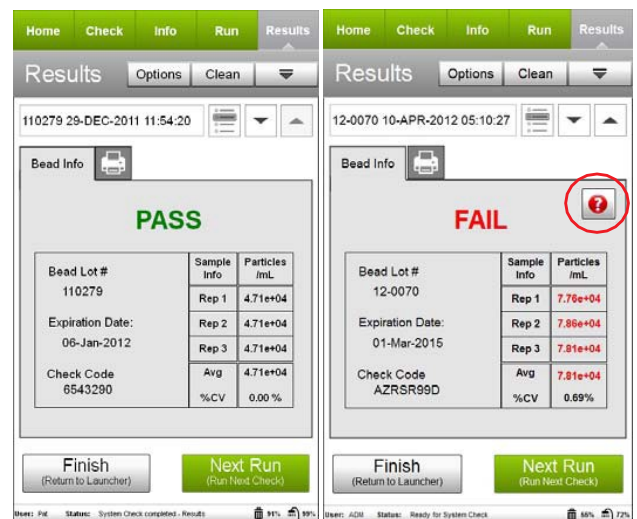
3. 「**Run Complete Clean**」を選択する。
4. ICF を入れた 1.5 mL チューブをセットし、「**Run**」を選択する。
5. ICF による洗浄が終了した後、ローダーアームが落ちて、DI 水(脱イオン水)のチューブをセットするようにメッセージが表示される。1.5 mL チューブに DI 水をセットして「**Continue**」を選択する。
6. 「**Next Cleaning**」を選択し、ステップ 4 と 5 を繰り返す。
7. 「**Finish**」を選択する。ここでシャットダウンする場合は、DI 水をチューブに入れて本体にセットしたまま終了する。

システムチェックの実施

本体を使用する際は使用する日の初めにシステムチェックを実施し、性能の確認をする。

1. 以下の手順でビーズ溶液を準備する。

- システムチェックビーズをボルテックスもしくは転倒混和により、よく攪拌する。
 - 1.5 mL チューブに 380 μ L の System Check Diluent を加える。
 - 上記溶液に 20 μ L のビーズ溶液を加える。
 - 調製したビーズ溶液を完全に攪拌する。
2. メインメニューの Essential Tools から「**System Check**」を選択する。
 3. 洗浄ボトルおよび廃液ボトルの溶液量の確認メッセージがでるので、それらの溶液量を確認後「**Close**」を選択する。
 4. 「**Run System Check**」を選択する。
 5. ビーズのロット番号、使用期限およびチェックコードを入力し、「**Next**」を選択する。
 6. サンプルを混合し、セットして「**Run**」を選択する。
 7. チューブを抜きとって混合し、ステップ 6 を 2 回繰り返す。
 8. 3 回目のサンプルロード終了後、「**Pass**」または「**Fail**」で結果が表示される。期待値から外れた結果は赤字で表示される。もし Fail になった場合、Help ボタンでトラブルシューティングの情報を確認する。



9. 「**Finish**」を選択する。

アッセイの開始

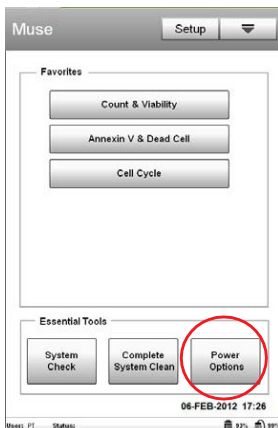
各アッセイ方法の詳細は、ユーザーガイドを参照ください。ユーザーガイドの確認方法：

1. Luminex の「[フローサイトメトリーキット&試薬](https://wp.me/P9lghB-5TZ)」のページ (<https://wp.me/P9lghB-5TZ>) にアクセスする。
2. 「Muse™ キットと試薬」の製品リストから該当する製品名をクリックする。

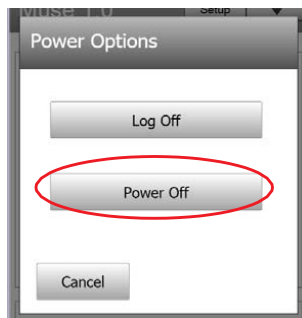
3. 「ドキュメンテーション」タブをクリックする。

システムの終了

1. メインメニューで「Power Option」を選択する。



2. 「Power Off」を選択し、システムを終了する。



トラブルシューティング

トラブル内容	考えられる原因	解決法
System Checkで Particles/mLが範囲外になりFailになった。(赤字で表示)	1. システムが十分に洗浄されていない。	1. Quick Cleanを実施後、System Checkを再度行う。それでも値がまだFailになる場合は、Complete System Cleanを行う。
	2. System Checkの入力時に間違っただ情報が入力された。	2. ビーズのロット番号を確認し、Check codeを入力する。ビーズのバイアルのラベルやInformation cardの値を確認する。
	3. ビーズの懸濁液が適切に調製されていない。	3. 新しいビーズ溶液を調製し、System Checkを再度行う。System Check Kit User's Guideの試薬調製方法を再度確認する。
	4. システムが適切に調整されていない。	4. Complete System Cleanを行う。洗浄ボトルに十分な溶液が入っているか再度確認し、キャピラリーや洗浄ボトルに接続しているチューブによじれやつまりが無いことを確認する。
Sample InformationコントロールパネルのParticle Countセクションにイベント数が示されない。	1. サンプルチューブがセットされていない。	1. サンプルチューブがセットされていること、ローダーアームがロックされる位置にあることを確認する。
	2. サンプル量が不十分。	2. 最小サンプル量は100 µL。サンプル量を確認する。
	3. サンプル中にビーズが無い。	3. 測定すべきサンプルが適切にセットされているか確認する。
	4. フローセルが詰まっている。	4. Backflushを実施後、Quick Cleanを行う。
	5. フローセルが破損している。	5. フローセルを取り除き、損傷有無を確認する。必要であれば交換する。
	6. サンプルポンプが動作していない。	6. Quick Cleanを行い、廃液ボトルに廃液が出てくるか確認する。
	7. レーザーが起動していない。	7. テクニカルサポートに連絡する。
	8. ハッチ内側のMinstac チューブの接続不良。	8. チューブの接続部分を確認する。
ローダーアームの動作不良。(ローダーアームが下がらない/セットできない)	ローダーアーム制御部分の機械的な噛み合わせの不具合。	フローセル部分のハッチを開き、ローダーアーム制御部分の噛み合わせに異常はないかを確認する。

テクニカルサポートお問い合わせ窓口
Tel: 03-5545-7444 / Fax: 03-5545-0451
Email: supportjapan@luminexcorp.com

ルミネックス・ジャパン株式会社
〒106-0041 東京都港区麻布台 1-7-2 神谷町麻布台ビル
Tel: 03-5545-7440(代) / Fax: 03-5545-0451
www.luminexcorp.com/ja/

© 2019-2020 Luminex Corporation. All rights reserved.

Guava, Muse は、米国および他の国々で登録されたルミネックス・コーポレーションの商標または登録商標です。本製品は研究用機器です。体外診断用には使用できません。研究用試薬と併せてお使いください。諸般の理由により、予告なく仕様を変更する場合がございますのであらかじめご了承ください。

Part No. 89-00002-00-708 Ver.A